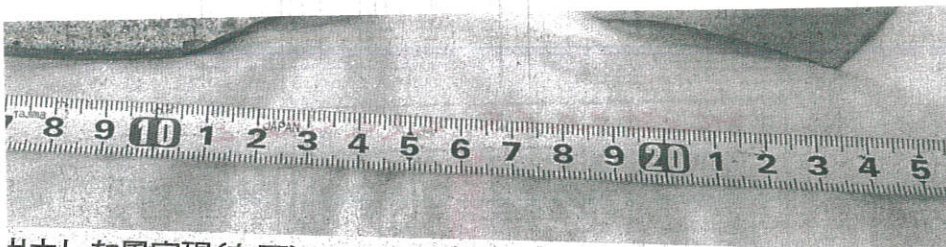


ど出土

の風字硯も

出土したと発表した。
11月2日午前10時半から現地説明会がある。
水田整備事業に伴う



出土した風字硯(左下)、墨書土器(同右)、金めっきした仏具(上)

もので、5790平方メートルを対象に昨年度から調査。墨書土器には「少□寺」とあり、中央の文字は不明だが「山」「芳」「節」ではないかとみられている。昨年見つけた墨書土器で存在が指摘された「盛法寺」より350年ほど前に、別の寺が存在した可能性が高いという。

また、風字硯は国史跡・斎宮跡で出土した国の重要文化財などを含め、県内では6例目。このほか、約4400年前の幼児の墓と見られる甕も出土した。低地の縄文期の集落跡としては、従来の出土例を1400年さかのぼる。

現地は奈良期からの旧参宮街道沿いであり、担当者は「古代条里制が残っており、昨



「アクセスディンギー」のレースに挑戦する参加者

障害、年齢超えヨットを楽しむ

伊勢で全国大会

操作が簡単で安定性に優れた小型ヨット「アクセスディンギー」の全国大会が27日、伊勢市の宇治山田港内で開かれ、障害のある人ら68人が参加した。

障害や年齢に関係なくセーリングを楽しむでもらおうと活動する団体「セイラドレティ

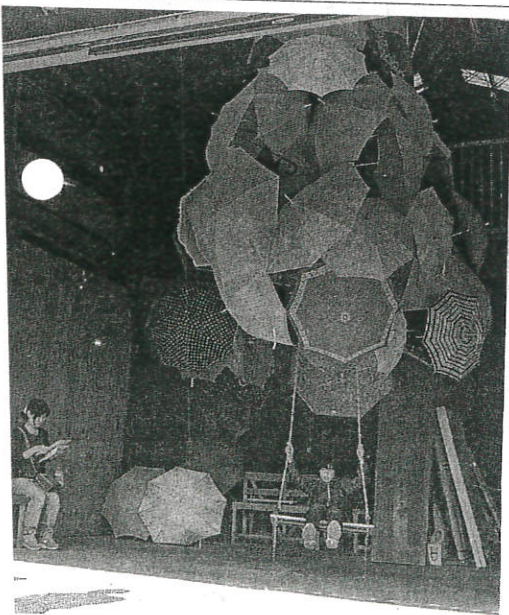
あり、体の不自由な人でも操船できる。

大会には県内のほか、東京や愛知、鹿児島など全国のセイラビリティ8団体の選手たちが参加。1艇に2人が乗り、各17艇の2ブロックに分かれ、宇治山田港内に設定されたコースで速さを競い合った。

【新井敦】
若手の作品を商店街に展示

ト亀山2013」が開かれていた。

実行委員会の主催。「アート」を「まち」に持ち込み、商店街の活性化につなげようと2008年に始まった。今年には地元の作家と全国の公募で選ばれた若手作家の計24組と、12人が参加した。



約400以上の商店街が美術館。倉庫にぶら下がるカラフルな傘で彩られたブランコや、公園で秋空を映す水たまりや椅子などで表現した立体造形などのほか、絵画や映像なども紹介されている。11月4日まで。【加藤新市】

平成25年10月27日